

(1) 概況

平成23年の大分県鉱工業生産指数（平成17年＝100）は、図1で見られるように96.1で前年比▲2.4%と低下した。

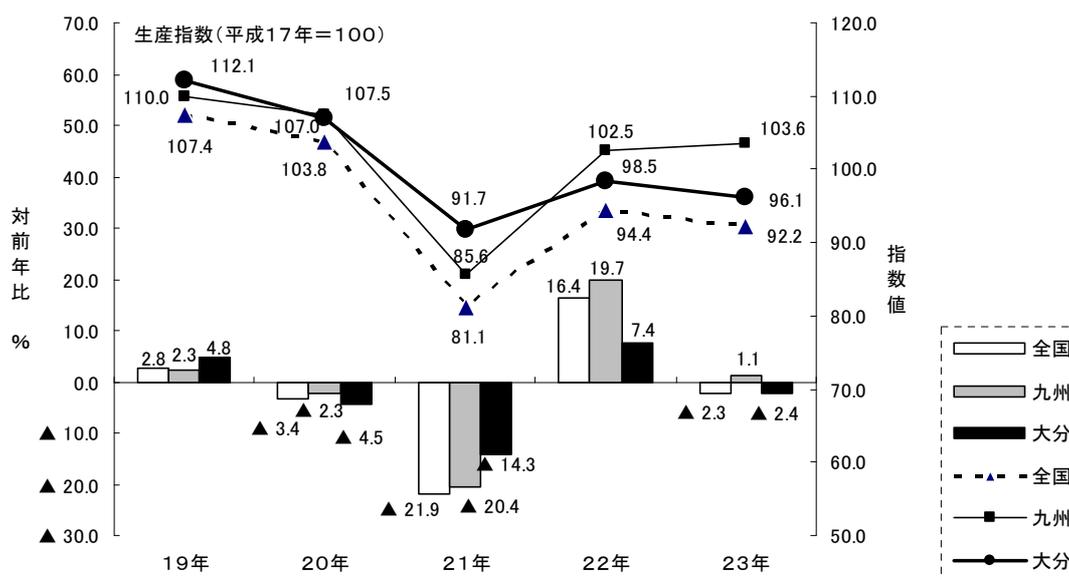
全国の生産指数は92.2で前年比▲2.3%と低下し、九州は103.6で前年比1.1%と上昇した。

生産指数を業種別にみると、前年に比べ、家具工業、プラスチック製品工業、その他製品工業等の11業種が上昇し、電気機械工業、情報通信機械工業、非鉄金属工業等の9業種が低下した。財別では最終需要財は前年比▲8.6%と4年連続低下し、生産財は前年比1.2%と上昇した。

出荷指数は、101.4で前年比▲2.4%となり、2年ぶりに低下した。業種別にみると、前年に比べ、家具工業、プラスチック製品工業、その他製品工業等の12業種が上昇し、電気機械工業、情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業等の8業種が低下した。

在庫指数は、100.7で前年比4.0%となり、2年連続で上昇した。業種別にみると、前年に比べ、その他製品工業、非鉄金属工業、輸送機械工業等の9業種が上昇し、電気機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、電子部品・デバイス工業等の9業種が低下した。

図1 生産指数及び対前年比の推移（統計表1）



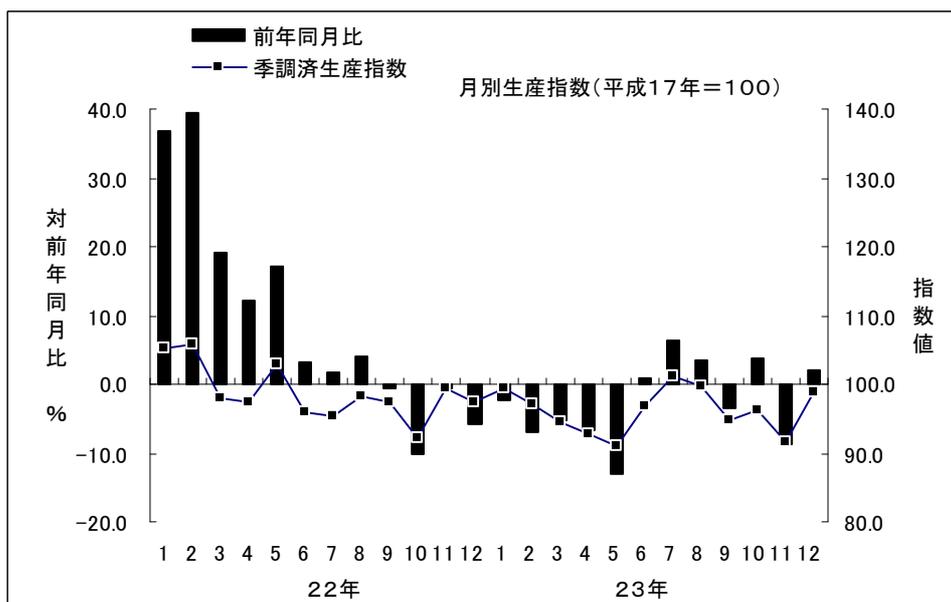
(ア) 生産活動の特徴

a 生産指数は2年ぶりに低下

平成23年平均生産指数は96.1で、対前年比▲2.4%と2年ぶりに低下した。

図2 月別生産指数（季節調整済指数）及び対前年同月比（原指数）の推移

（統計表7）



b 11業種が上昇、9業種が低下

平成23年平均生産指数を業種別にみると、一般機械工業が2年連続上昇するなど、20業種中11業種が上昇した。一方、繊維工業が8年連続、窯業・土石製品工業が5年連続低下するなど、9業種が低下した。

上昇した11業種は、家具工業（対前年比51.0%）、プラスチック製品工業（同23.6%）、その他製品工業（同15.7%）であり、低下した9業種の主な業種は、電気機械工業（同▲56.2%）、情報通信機械工業（同▲26.8%）、非鉄金属工業（同▲13.0%）などである

(イ) 四半期別の動向

表1は、平成23年の四半期別生産指数の推移を示したものである。

本県においては、Ⅰ期、Ⅲ期は前期比で上昇し、Ⅱ期、Ⅳ期は前期比で低下した。

業種別四半期別の動向は、表2のとおりである。

表1 四半期別生産指数（季節調整済）の推移（統計表10）

区分	全国		九州		大分		
	指数	前期比 (%)	指数	前期比 (%)	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
23年1～3月	92.8	▲1.5	102.1	▲0.3	97.0	0.7	▲4.9
4～6月	88.9	▲4.2	102.5	0.4	93.5	▲3.6	▲6.4
7～9月	93.7	5.4	104.8	2.2	98.6	5.5	2.1
10～12月	94.1	0.4	105.6	0.8	95.6	▲3.0	▲1.1

表2 業種別四半期別生産指数（季節調整済）の推移（統計表10）

業種別	生産指数				前期比 (%)			
	23年				23年			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
鉱工業総合	97.0	93.5	98.6	95.6	0.7	▲3.6	5.5	▲3.0
製造工業	97.2	93.6	98.8	95.7	0.7	▲3.7	5.6	▲3.1
鉄鋼業	121.9	115.1	105.4	113.9	10.3	▲5.6	▲8.4	8.1
非鉄金属工業	68.0	89.1	92.7	106.9	▲36.2	31.0	4.0	15.3
金属製品工業	64.9	60.3	63.8	80.9	2.7	▲7.1	5.8	26.8
一般機械工業	135.6	162.1	153.9	155.8	▲3.4	19.5	▲5.1	1.2
電気機械工業	49.5	32.1	53.3	62.7	▲12.7	▲35.2	66.0	17.6
情報通信機械工業	69.8	47.1	84.2	41.5	▲7.4	▲32.5	78.8	▲50.7
電子部品・デバイス工業	90.1	84.6	87.0	85.8	1.5	▲6.1	2.8	▲1.4
輸送機械工業	119.2	119.5	150.6	171.0	▲12.5	0.3	26.0	13.5
精密機械工業	119.3	121.6	122.3	121.2	1.0	1.9	0.6	▲0.9
窯業・土石製品工業	81.6	74.8	73.7	71.3	4.1	▲8.3	▲1.5	▲3.3
化学工業	108.5	98.5	92.0	94.9	12.4	▲9.2	▲6.6	3.2
石油製品工業	107.5	110.7	108.1	91.8	7.8	3.0	▲2.3	▲15.1
繊維工業	27.4	29.2	27.9	28.8	▲1.1	6.6	▲4.5	3.2
木材・木製品工業	84.8	82.0	83.8	84.8	1.6	▲3.3	2.2	1.2
食料品工業	84.1	90.7	83.7	83.3	3.6	7.8	▲7.7	▲0.5
その他工業	105.1	108.7	115.1	118.8	9.4	3.4	5.9	3.2
パルプ・紙・紙加工品工業	91.7	94.2	93.4	93.2	▲2.8	2.7	▲0.8	▲0.2
家具工業	69.2	76.4	76.3	79.2	51.4	10.4	▲0.1	3.8
プラスチック製品工業	118.2	125.9	135.4	140.9	11.0	6.5	7.5	4.1
その他製品工業	107.8	105.5	118.2	122.4	7.5	▲2.1	12.0	3.6
鉱業	81.6	80.8	81.8	81.5	3.0	▲1.0	1.2	▲0.4

<四半期別動向の詳細>

a 1～3月期

生産指数は、97.0で前期比0.7%の上昇となった。この期は、全20業種中13業種が上昇、7業種が低下となった。

上昇した業種は、家具工業（前期比51.4%）、化学工業（同12.4%）、プラスチック製品工業（同11.0%）などである。

一方、低下した主な業種は、非鉄金属工業（前期比▲36.2%）、電気機械工業（同▲12.7%）、輸送機械工業（同▲12.5%）などである。

b 4～6月期

生産指数は、93.5で前期比▲3.6%の低下となった。この期は、全20業種中10業種が上昇、10業種が低下となった。

上昇した主な業種は、非鉄金属工業（前期比31.0%）、一般機械工業（同19.5%）、家具工業（同10.4%）などである。

一方、低下した主な業種は、電気機械工業（前期比▲35.2%）、情報通信機械工業（同▲32.5%）、化学工業（同▲9.2%）などである。

c 7～9月期

生産指数は98.6で前期比5.5%の上昇となった。この期は、全20業種中11業種が上昇、9業種が低下となった。

上昇した主な業種は、情報通信機械工業（前期比78.8%）、電気機械工業（同66.0%）、輸送機械工業（同26.0%）などである。

一方、低下した主な業種は、鉄鋼業（前期比▲8.4%）、食料品工業（同▲7.7%）、化学工業（同▲6.6%）などである。

d 10～12月期

生産指数は、95.6で前月比▲3.0%の低下となった。この期は、全20業種中12業種が上昇、8業種が低下となった。

上昇した業種は、金属製品工業（前期比26.8%）、電気機械工業（同17.6%）、非鉄金属工業（同15.3%）である。

一方、低下した主な業種は、情報通信機械工業（前期比▲50.7%）、石油製品工業（同▲15.1%）、窯業・土石製品工業（同▲3.3%）などである。

(ウ) 業種別寄与率及び寄与度

総合の伸びに対して、その内訳である業種がどの程度影響を与えたかを示したものが寄与度である。

平成23年の生産指数は、前年比▲2.4%の低下となっている。この伸び率に対して上昇に寄与したものが11業種、低下に寄与したものが9業種となっている。

上昇に寄与した業種は、一般機械工業（寄与度1.1%）、化学工業（同0.9%）、プラスチック製品工業（同0.4%）である。

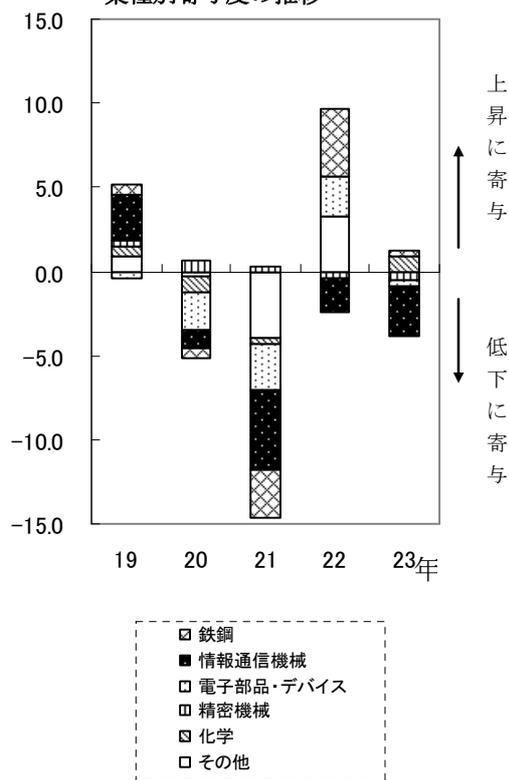
一方、低下に寄与した主な業種は、情報通信機械工業（寄与度▲3.0%）、非鉄金属工業（同▲0.9%）、電気機械工業（同▲0.7%）などである。

また、図3は、その年の生産総合指数の伸びに対する業種別の寄与度について、平成19年以降の推移を示したものである。全ての年次において情報通信機械工業が大きく寄与していることがわかる。

表3 業種別寄与度表

業 種 別	寄与度(%)
鋁工業総合	▲2.4
製造工業	▲2.4
鉄鋼業	0.4
非鉄金属工業	▲0.9
金属製品工業	▲0.0
一般機械工業	1.1
電気機械工業	▲0.7
情報通信機械工業	▲3.0
電子部品・デバイス工業	▲0.4
輸送機械工業	▲0.2
精密機械工業	▲0.4
窯業・土石製品工業	▲0.2
化学工業	0.9
石油製品工業	0.0
繊維工業	▲0.0
木材・木製品工業	0.0
食料品工業	0.2
その他工業	0.6
パルプ・紙・紙加工品工業	0.0
家具工業	0.1
プラスチック製品工業	0.4
その他製品工業	0.1
鋁業	0.0

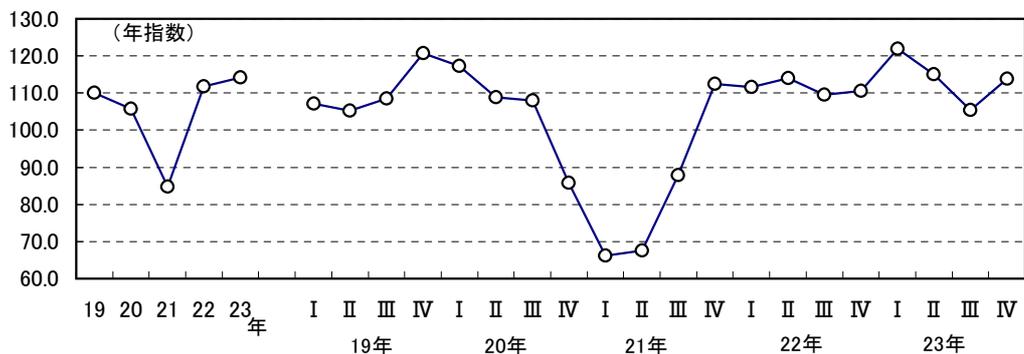
図3 鋁工業生産総合指数の伸びに対する業種別寄与度の推移



注) 本表は業種ごとに四捨五入しているため、内訳と合計が一致しないことがある。

(2) 業種別の生産動向 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数 平成17年=100]

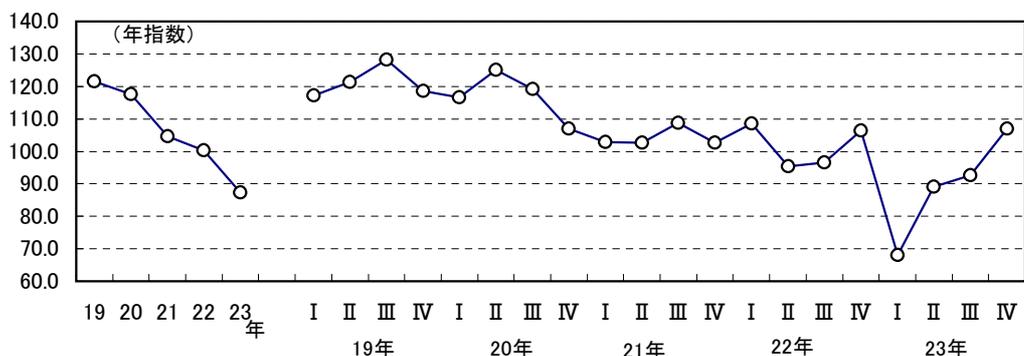
① 鉄鋼業



平成23年の鉄鋼業の生産指数は114.1で、前年比2.1%と2年連続の上昇となった。

[鉄鋼業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
23年	114.1	-	2.1
I期	121.9	10.3	14.5
II期	115.1	▲ 5.6	0.4
III期	105.4	▲ 8.4	▲ 8.0
IV期	113.9	8.1	1.9

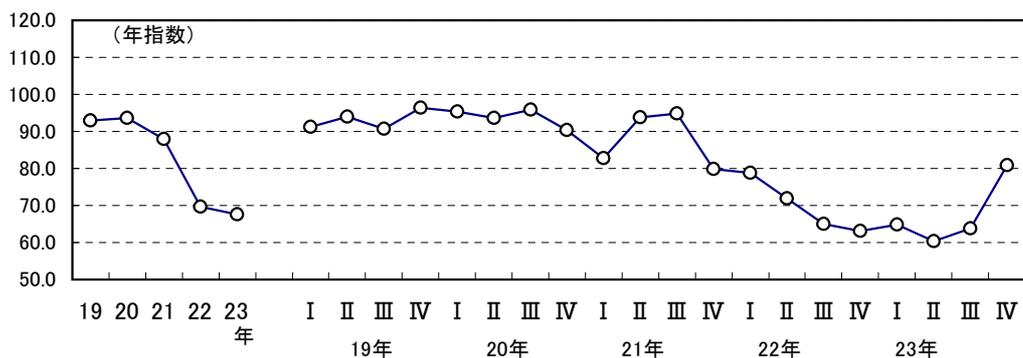
② 非鉄金属工業



平成23年の非鉄金属工業の生産指数は87.3で、前年比▲13.0%と4年連続の低下となった。

[非鉄金属工業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
23年	87.3	-	▲ 13.0
I期	68.0	▲ 36.2	▲ 42.8
II期	89.1	31.0	▲ 8.0
III期	92.7	4.0	1.0
IV期	106.9	15.3	9.4

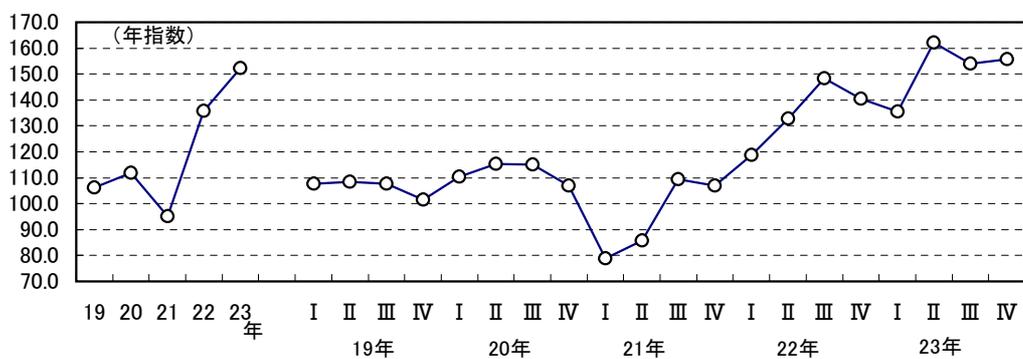
③ 金属製品工業



平成23年の金属製品工業の生産指数は67.6で、前年比▲2.9%と3年連続の低下となった。

〔金属製品工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
23年	67.6	-	▲ 2.9
I期	64.9	2.7	▲ 15.4
II期	60.3	▲ 7.1	▲ 18.8
III期	63.8	5.8	▲ 3.6
IV期	80.9	26.8	30.0

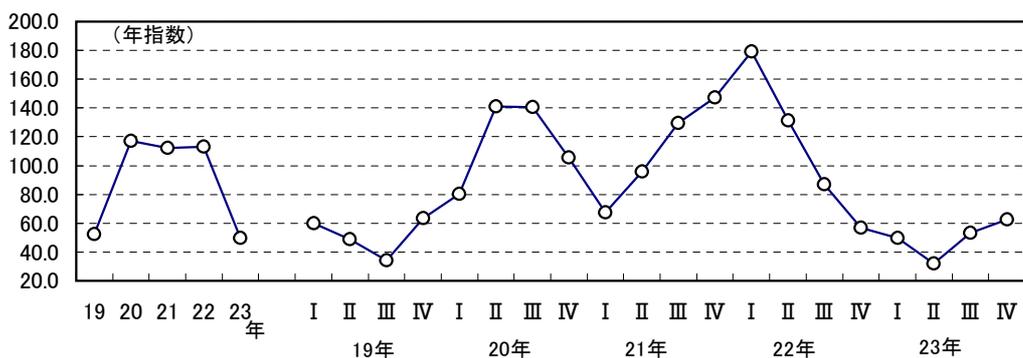
④ 一般機械工業



平成23年の一般機械工業の生産指数は152.2で、前年比12.0%と2年連続で上昇し、高水準を保っている。

〔一般機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
23年	152.2	-	12.0
I期	135.6	▲ 3.4	9.8
II期	162.1	19.5	26.5
III期	153.9	▲ 5.1	5.8
IV期	155.8	1.2	7.6

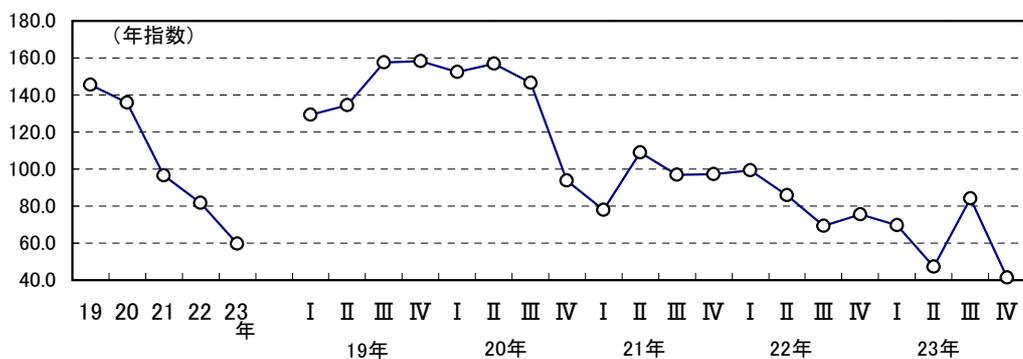
⑤ 電気機械工業



平成23年の電気機械工業の生産指数は49.5で、前年比▲56.2%と大幅に低下した。

〔電気機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
23年	49.5	-	▲ 56.2
Ⅰ期	49.5	▲ 12.7	▲ 71.7
Ⅱ期	32.1	▲ 35.2	▲ 76.1
Ⅲ期	53.3	66.0	▲ 40.0
Ⅳ期	62.7	17.6	14.9

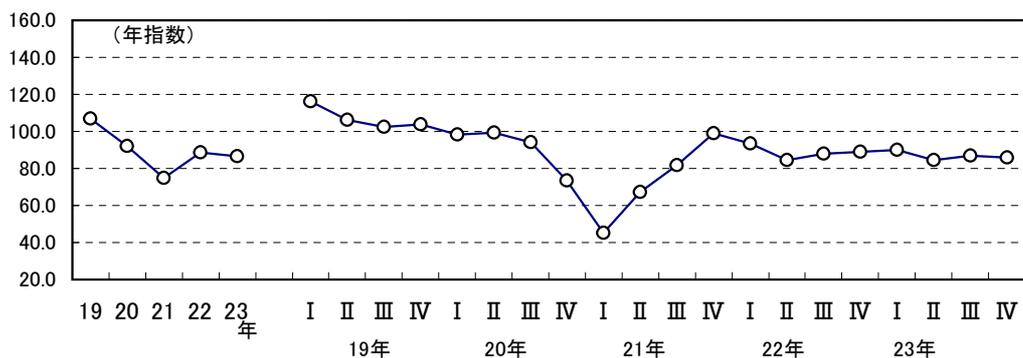
⑥ 情報通信機械工業



平成23年の情報通信機械工業の生産指数は59.7で、前年比▲26.8%と4年連続で低下した。

〔情報通信機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
23年	59.7	-	▲ 26.8
Ⅰ期	69.8	▲ 7.4	▲ 33.1
Ⅱ期	47.1	▲ 32.5	▲ 46.7
Ⅲ期	84.2	78.8	28.3
Ⅳ期	41.5	▲ 50.7	▲ 43.2

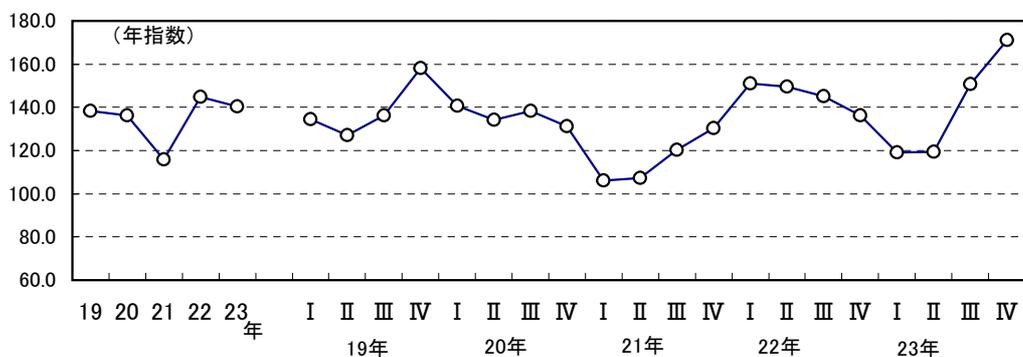
⑦ 電子部品・デバイス工業



平成23年の電子部品・デバイス工業の生産指数は86.6で、前年比▲2.4%と2年ぶりに低下した。

〔電子部品・デバイス工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
23年	86.6	-	▲ 2.4
I期	90.1	1.5	▲ 4.6
II期	84.6	▲ 6.1	▲ 2.4
III期	87.0	2.8	▲ 0.5
IV期	85.8	▲ 1.4	▲ 2.2

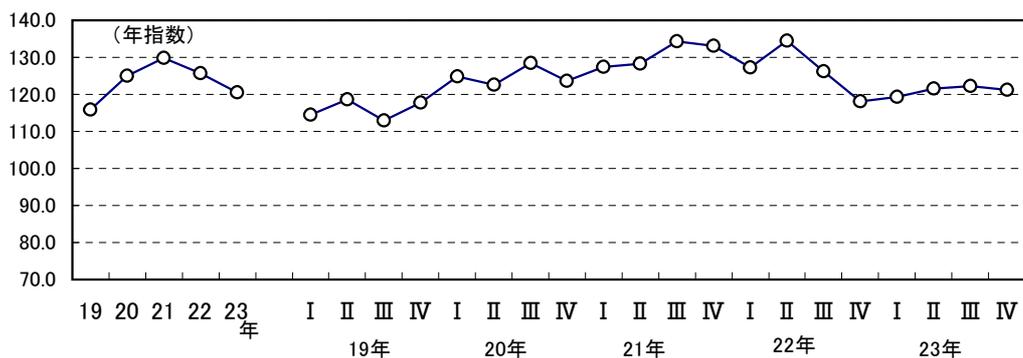
⑧ 輸送機械工業



平成23年の輸送機械工業の生産指数は140.3で、前年比▲3.2%と2年ぶりに低下したものの、依然高水準を保っている。

〔輸送機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
23年	140.3	-	▲ 3.2
I期	119.2	▲ 12.5	▲ 22.3
II期	119.5	0.3	▲ 21.9
III期	150.6	26.0	5.1
IV期	171.0	13.5	30.1

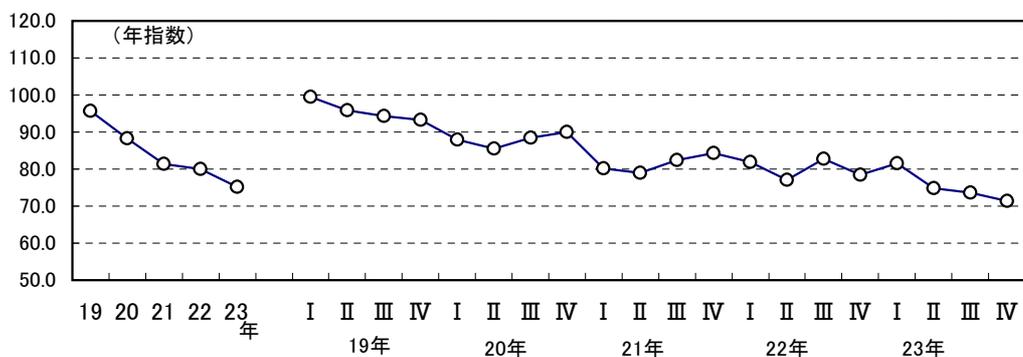
⑨ 精密機械工業



平成23年の精密機械工業の生産指数は120.6で、前年比▲4.1%と2年連続で低下したものの、依然高水準を保っている。

〔精密機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
23年	120.6	-	▲ 4.1
Ⅰ期	119.3	1.0	▲ 5.6
Ⅱ期	121.6	1.9	▲ 9.5
Ⅲ期	122.3	0.6	▲ 2.1
Ⅳ期	121.2	▲ 0.9	1.9

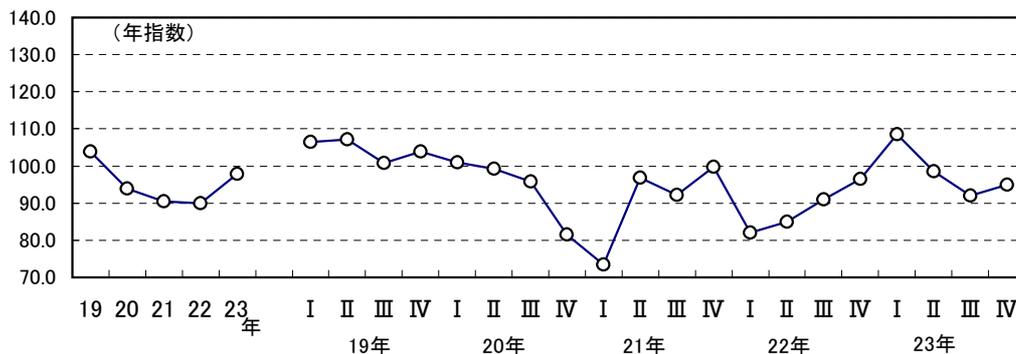
⑩ 窯業・土石製品工業



平成23年の窯業・土石製品工業の生産指数は75.2で、前年比▲6.0%と5年連続の低下となった。

〔窯業・土石製品工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
23年	75.2	-	▲ 6.0
Ⅰ期	81.6	4.1	0.2
Ⅱ期	74.8	▲ 8.3	▲ 4.5
Ⅲ期	73.7	▲ 1.5	▲ 9.2
Ⅳ期	71.3	▲ 3.3	▲ 9.9

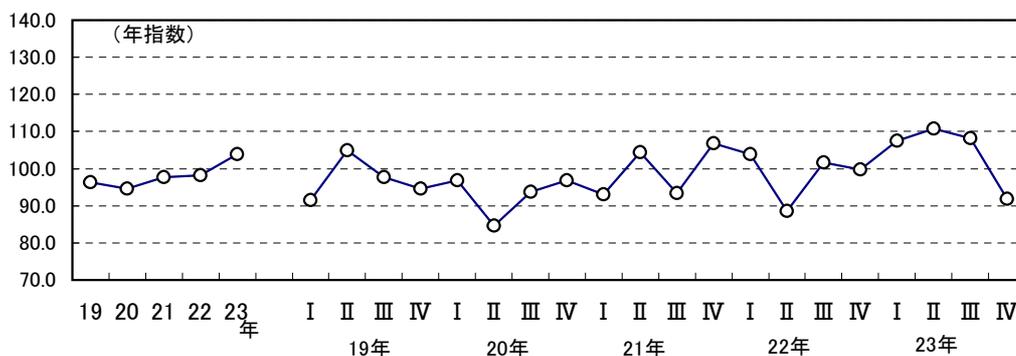
⑪ 化学工業



平成23年の化学工業の生産指数は97.9で、前年比8.9%と4年ぶりに上昇した。

[化学工業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
23年	97.9	-	8.9
I期	108.5	12.4	31.6
II期	98.5	▲ 9.2	12.3
III期	92.0	▲ 6.6	▲ 0.6
IV期	94.9	3.2	▲ 1.3

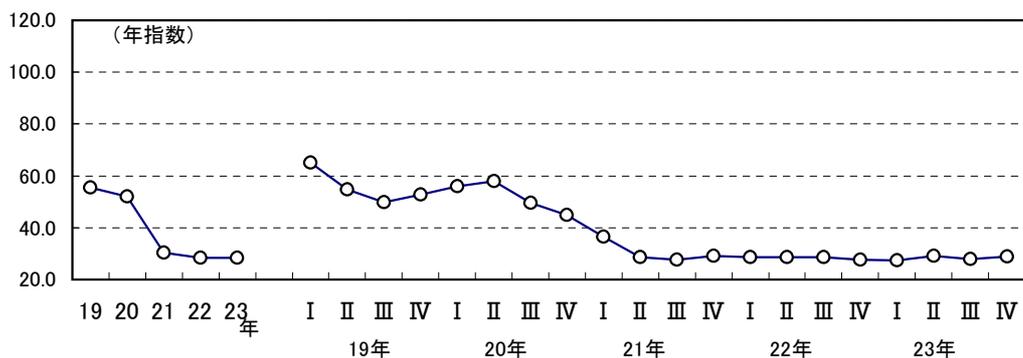
⑫ 石油製品工業



平成23年の石油製品工業の生産指数は103.9で、前年比5.7%と3年連続の上昇となった。

[石油製品工業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
23年	103.9	-	5.7
I期	107.5	7.8	5.5
II期	110.7	3.0	28.0
III期	108.1	▲ 2.3	7.5
IV期	91.8	▲ 15.1	▲ 10.1

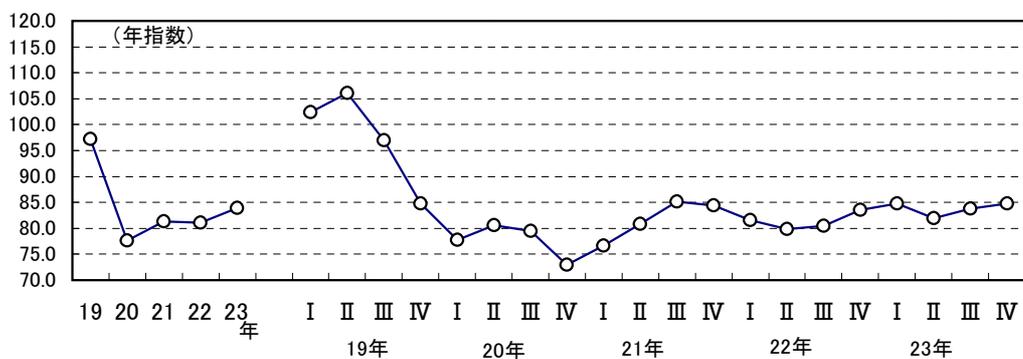
⑬ 繊維工業



平成23年の繊維工業の生産指数は28.3で、前年比▲0.4%と8年連続の低下となった。

[繊維工業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
23年	28.3	-	▲0.4
I期	27.4	▲1.1	▲6.5
II期	29.2	6.6	4.6
III期	27.9	▲4.5	▲2.7
IV期	28.8	3.2	3.4

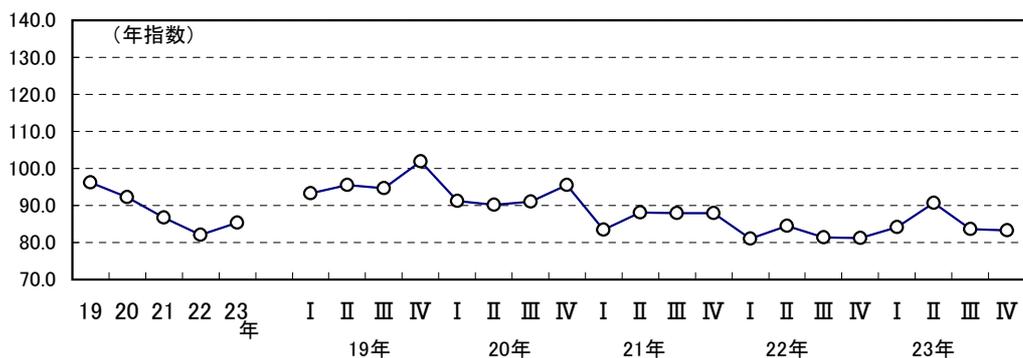
⑭ 木材・木製品工業



平成23年の木材・木製品工業の生産指数は83.9で、前年比3.5%と2年ぶりに上昇した。

[木材・木製品工業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
23年	83.9	-	3.5
I期	84.8	1.6	4.4
II期	82.0	▲3.3	1.8
III期	83.8	2.2	4.7
IV期	84.8	1.2	2.5

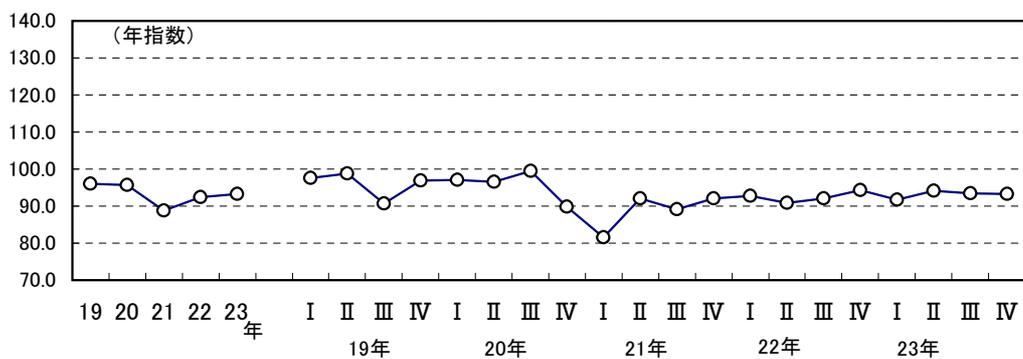
⑮ 食料品工業



平成23年の食料品工業の生産指数は85.3で、前年比3.9%と7年ぶりに上昇した。

〔食料品工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
23年	85.3	-	3.9
Ⅰ期	84.1	3.6	5.0
Ⅱ期	90.7	7.8	8.0
Ⅲ期	83.7	▲ 7.7	2.3
Ⅳ期	83.3	▲ 0.5	0.3

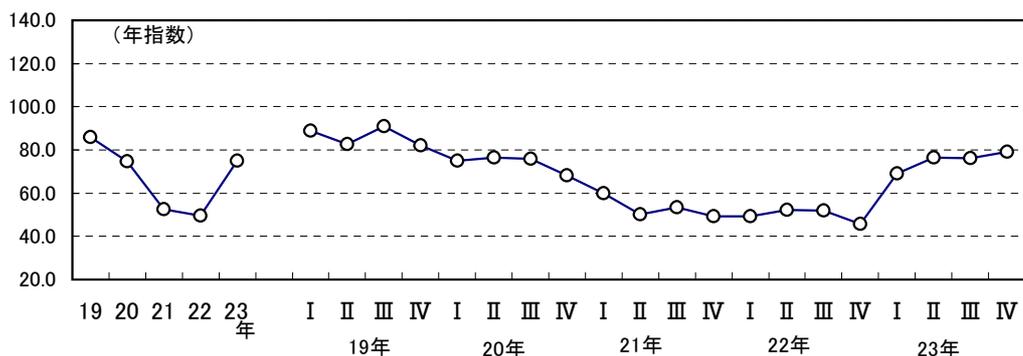
⑯ パルプ・紙・紙加工品工業



平成23年のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は93.2で、前年比0.9%と2年連続で上昇した。

〔パルプ・紙・紙加工品工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
23年	93.2	-	0.9
Ⅰ期	91.7	▲ 2.8	▲ 1.7
Ⅱ期	94.2	2.7	4.1
Ⅲ期	93.4	▲ 0.8	1.1
Ⅳ期	93.2	▲ 0.2	▲ 0.1

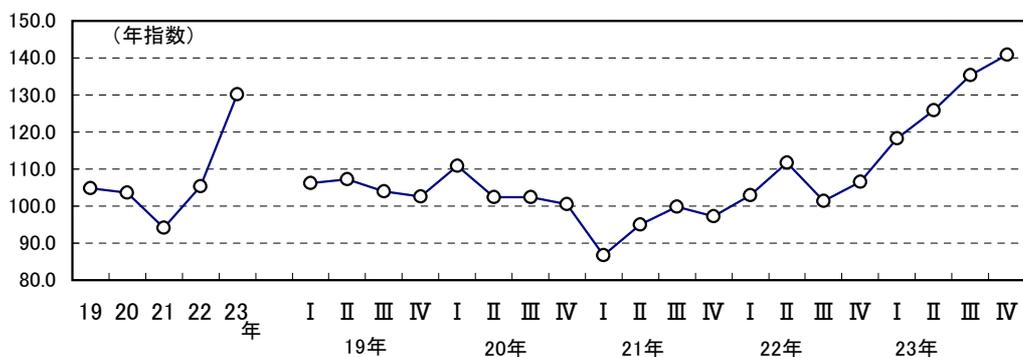
⑰ 家具工業



平成23年の家具工業の生産指数は74.9で、前年比51.0%と6年ぶりに上昇した。

[家具工業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
23年	74.9	-	51.0
I期	69.2	51.4	43.3
II期	76.4	10.4	53.9
III期	76.3	▲ 0.1	46.3
IV期	79.2	3.8	61.0

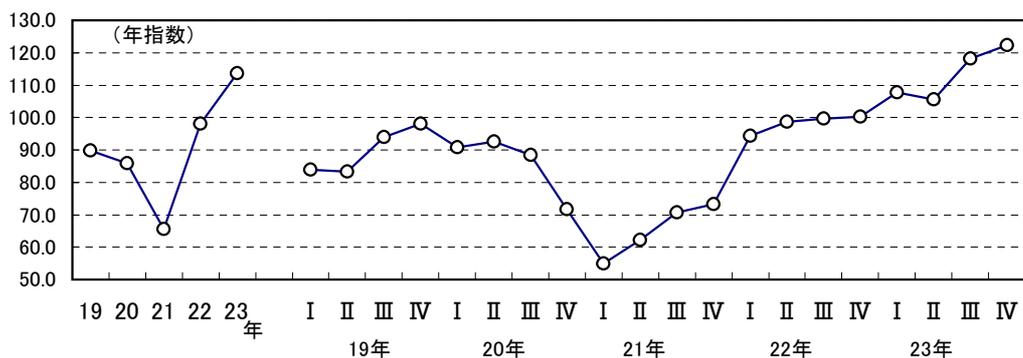
⑱ プラスチック製品工業



平成23年のプラスチック製品工業の生産指数は130.1で、前年比23.6%と2年連続で上昇した。

[プラスチック製品工業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
23年	130.1	-	23.6
I期	118.2	11.0	16.7
II期	125.9	6.5	14.3
III期	135.4	7.5	34.0
IV期	140.9	4.1	28.6

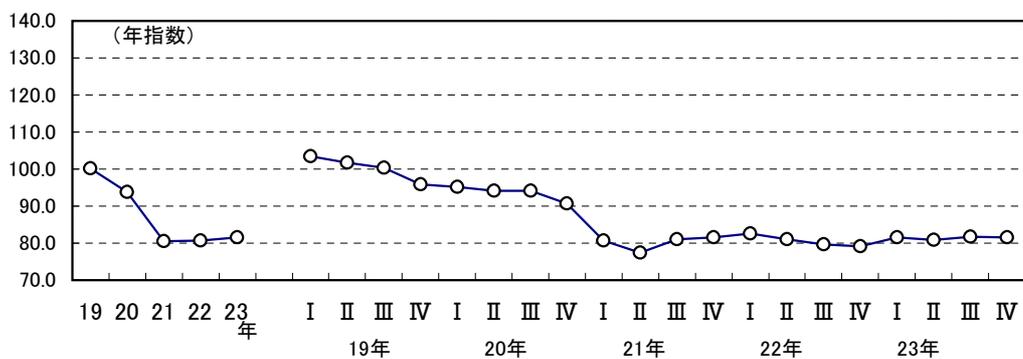
⑱ その他製品工業



平成23年のその他製品工業の生産指数は113.6で、前年比15.7%と2年連続で上昇した。

〔その他製品工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
23年	113.6	-	15.7
Ⅰ期	107.8	7.5	14.0
Ⅱ期	105.5	▲ 2.1	6.8
Ⅲ期	118.2	12.0	19.5
Ⅳ期	122.4	3.6	21.4

⑳ 鉱業



平成23年の鉱業の生産指数は81.5で、前年比1.1%と2年連続で上昇した。

〔鉱業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
23年	81.5	-	1.1
Ⅰ期	81.6	3.0	▲ 0.1
Ⅱ期	80.8	▲ 1.0	▲ 1.0
Ⅲ期	81.8	1.2	3.1
Ⅳ期	81.5	▲ 0.4	2.4

(3) 特殊分類（財別）の生産動向

特殊分類とは、それぞれの品目を経済的用途によって分類したものであり、その内容は表4のとおりである。

表4 特殊分類（財別）の分類定義

分類	定義
最終需要財	鉱工業又は他の産業に原材料として投入されない最終製品 ただし、建設財を含み、企業消費財を除く
投資財	資本財と建設財の合計
資本財	主として家計以外で購入される財で耐用年数1年以上の財
建設財	建築用と土木用の合計
消費財	主として家計で購入される財
耐久消費財	耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高い製品
非耐久消費財	耐用年数が1年未満、又は比較的購入単価が安い製品
生産財	鉱工業及び他の産業に原材料として投入される商品 ただし、輸出用の中間生産物、企業消費財を含み、建設財を除く

図4は、平成19年以降の特分類（財別）生産指数の推移を表したものである。

平成23年は、最終需要財は4年連続で低下し、生産財は2年連続で上昇した。

図4 特殊分類（財別）生産指数の推移
（統計表11）

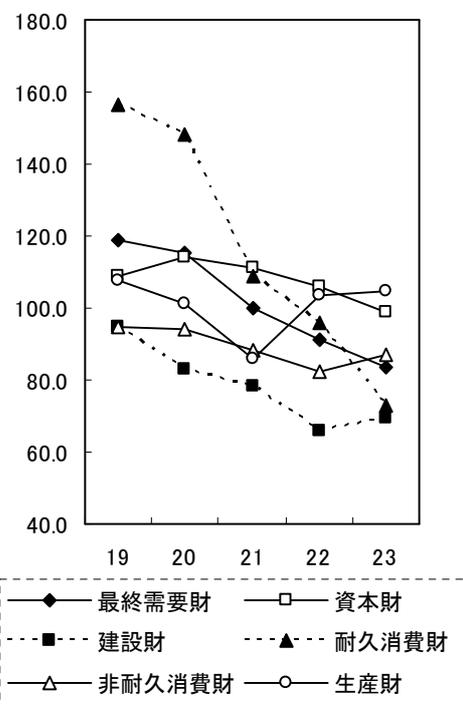


表5 特殊分類（財別）生産指数（統計表11）

分類	平成23年生産指数	前年比 (%)
鉱工業総合	96.1	▲2.4
最終需要財	83.3	▲8.6
投資財	89.0	▲3.4
資本財	99.0	▲6.3
建設財	69.7	5.8
消費財	78.7	▲12.7
耐久消費財	72.7	▲24.2
非耐久消費財	86.9	5.3
生産財	104.8	1.2

(ア) 終需要財

a 投資財

投資財の生産指数は、89.0で前年比▲3.4%となり、4年連続の低下となった。内訳をみると、資本財の生産指数は、99.0で前年比▲6.3%と3年連続の低下となり、建設財の生産指数は、69.7で前年比5.8%と6年ぶりに上昇した。

b 消費財

消費財の生産指数は、78.7で前年比▲12.7%となり、4年連続の低下となった。内訳をみると、耐久消費財の生産指数は、72.7で前年比▲24.2%と4年連続の低下となり、非耐久消費財の生産指数は、86.9で前年比5.3%と6年ぶりに上昇した。

(イ) 生産財

生産財の生産指数は、104.8で前年比1.2%と、2年連続で上昇した。

図5は、総合生産指数の伸びに対する財別の寄与度について平成19年以降の推移を表にしたものである。

平成23年は、生産財の及ぼす影響が非常に大きくなっている。

図5 鉱工業総合指数の伸びに対する財別寄与度の推移

